

平成29年度 四季の森小学校「豊かな心の育成」推進プラン

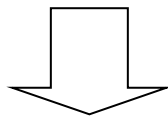
児童の実態

本校の児童は、素直で人なつこく学年を問わず、誰とでも仲良くしている。また、多くの地域の人たちから見守られている。さらに、大小様々な公園が学区に多数あり、のびのびと過ごすことができる。

その反面、自己認識が甘く、自分の思いを表現することが苦手で、コミュニケーション能力が不足している。道徳的価値は知っているが、実践できていない面や集団でのまとまりが弱い面がある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
- ・なかよし班活動を通して、高学年が責任をもって行動できる実践力や主体性、思いやりの心を育てる。
- ・「四季の森フェスティバル」に向けての取組を中心に、児童の自主性、自己肯定感や道徳的価値を高めしていく。
- ・授業や活動の中で「コミュニケーション能力」の向上を図る。



「道徳の時間」の充実【指針1】

◎道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的な見方・考え方・感じ方ができるようにします。【視点1】

- ・道徳の授業では、「わたしたちの道徳」や道徳の資料を積極的に活用します。
- ・学年・ブロックごとに道徳の資料を収集・選択をします。
- ・年1回、道徳公開授業を行い、家庭と共通理解・連携をはかり指導していきます。

確かな人権感覚・意識の育成【指針3】

◎日本の伝統や文化を尊重するとともに、他の国の人々や文化を理解、尊重する姿勢を身につけるようにします。【視点9】

- ・横浜国際スピーチコンテストに6年生が取り組み、成果を全校に向けて発信します。

豊かな感性や情操の育成【指針4】

◎読書活動を充実させ、主体的に読書に親しむ習慣を身につけ、言葉を学び、表現力や豊かな感性を身につけるようにします。【視点11】

- ・「朝読書」の時間を設定し、読書活動の充実を図ります。
- ・「はまっ子読書ノート」を積極的に活用します。
- ・全校一斉読書を行います。
- ・図書ボランティア(保護者)による、読み聞かせを行います。